

平成30年度 第3回和泉総合高校学校運営協議会 議事録

日 時 平成31年2月2日(土) 9:30~11:30

場 所 本校 応接室

出席者 委員(敬称略)

寺脇 久人(会長) 上條 藤夫(副会長) 一井 正次
葛城 雅之 森脇 隆行 下荒神 亜矢子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭 首席
進路指導部長 生活指導部長

1. 校長挨拶(校長)

2. 学校経営計画及び学校評価についての報告

- ・平成30年度学校経営計画及び学校評価について
平成31年度学校経営計画について(校長)
- ・学校教育自己診断について(教頭)

3. その他

- ・外部人材(SC、SSW、CC)の活用について(首席)
- ・進路状況について(進路指導部長)
- ・生徒の状況について(生活指導部長)

4. 質疑応答

学校教育自己診断について

- ・「エンパワメントスクールに来てよかった」との質問に関しては、エンパワメントスクール8校すべてに共通する質問である。すべての学校において3学年そろった状態になれば各校の相関関係が見えてくる。また、生徒が「来てよかった」と感じるには自己肯定感をどう持たせるかが重要。(校長)
- ・いろいろな点がエンパワメントスクールによって変わっているが、学校教育自己診断での「学校に行くのが楽しい」の問いで、エンパワメントスクールの1年生と他の学年とで違いはあるのか。また保護者の回収率が低いが、学年による差があるのか。(委員)
→ 学年による分析まではしていない。今後検討していきたい。(事務局)

全体について

- ・協議会では先生方の頑張りをとても評価している。それをもっと直接先生方に伝えることが出来るような学校運営協議会開催の工夫をしてほしい。(委員)
→ 来年度も土曜の開催を予定しているが、検討する。(事務局)
- ・エンパワメントスクールに変わり、和泉総合高校のイメージが地元でも変わってきた。しかしイメージの改善だけでなく、就職指導や地域参加などプラス面を積極的にもっとアピールしたほうがよい。(委員)

- 懲戒数の減少、欠席日数の減少は先生方の努力の成果と思う。また、出前授業などは児童・生徒の自己肯定感を高めることにつながるので、ぜひ頑張ってもらいたい。(委員)
 - 支援教育に関する校内研修やSSWなどの活用、安全安心な学校づくりについて、また地域連携などもっと自己評価を高めてもよいのではないかと。(委員)
- 評価案なので、これから精査していきたい。(校長)
- SSWが入ってきたことは大きい変化だといえるが、どのような活用をしているのか。(委員)
- 合格者の中学校への訪問や、事例によってはSSWの助言を得て児童相談所や市町村との連携を実施している。(事務局)

外部人材の活用について

- 「産業社会と人間」や工業系の授業などに積極的に特別非常勤講師による民間の力を導入していることは非常によいと思う。(委員)
- 進路指導部で「進路の手引き」を作成し、3年間の計画を先生方が協力してすすめていく体制が出来つつあると思う。頑張ってもらいたい。(委員)

全体について回答

- 学校に朝からしっかり来るという基本的な生活習慣が大切であり、1年生で効果が出ているので、来年度は2年生でも朝学を行う。(校長)
- 学校の活動をどのように外部に発信するのか。非常時のメール配信をしているが、今年度の台風のときの休校については、電話連絡だけでなくSNSで拡散していただいたらスムーズだった。いろいろ細かな点もふくめて広報していきたい。(校長)

最後に

- エンパワメントスクール1年目をスタートしたところである。そういう意味では制度やルールを途中で変更しても構わないし、生徒のためになることはどんどんやっていって欲しい。(委員)